

中学部2年A組 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和5年9月27日(水)
3校時10:30~11:20

場 所 中学部2年A組教室、作業学習室3

指導者 佐々木 菜摘(T1)沓澤 妙子(T2)
阿部 哲哉(T3)

1 単元名 中2チャンネル～稲庭城編～ うどんエキスポで稲川の麺の魅力を伝えよう！

2 単元目標

- (1)自分たちの学校がある稲川地域に興味をもち、調査したいことを決めたり、タブレット端末等を使って調べたりして、地域の良さや特徴について知る。(知・技)
- (2)教師や友達とやり取りしながら、自分の感想やアイデアを伝え合ったり、相手に伝わるような表現の仕方を工夫したりして、学んできたことをまとめる。(思・判・表)
- (3)自分の得意なこと・好きな活動を生かして制作することでお互いを認め合ったり、学んだことを発信して、地域から認められたりする経験を通して、喜びや達成感を感じながら、意欲をもって活動に取り組む。(学・人)

3 生徒と単元

(1)生徒について

本学級は、男子4名、女子2名の6名で、本校小学部から進学した生徒が4名、他小学校から進学した生徒が2名である。コミュニケーション面では、単語で伝えたり、気持ちを表現することに時間を要したりする生徒がいるが、教師が気持ちを代弁したり、個別に聞き取ったりすることで、教師とのやり取りの中で自分の意思や気持ちを他者に伝えることができる。また、全員が簡単な言葉での指示を理解して学習に取り組める。2年生になり、友達との関わりが増え、友達を受け入れたり、優しい言葉を掛けたりすることが増えてきている。

全員で協力して何かを作ることが難しいときがあるが、役割を分担し、それぞれが取り組んだ物を合わせて1つにする活動を積み重ねる中で、友達の頑張りを受け入れたり、認めたりする姿も増えてきた。また、活動の写真や動画などを提示したり、本時の活動内容や終了時間などを明確にしたりすることで、イメージをもって活動に取り組んだり、最後まで全員で学習したりすることができるようになってきた。

このように昨年からの学級等での学習活動の積み重ねにより、それぞれの得意なことを認め合う姿が見られ、そのことによって自分の選択や考えに自信をもち、安心して気持ち等を表出したり、相談したりすることができるようになってきた。今後、様々な人との関わりを広げ、自己選択、自己決定をしながら物事に挑戦していく姿を期待している。

(2)単元について

昨年度は、「中1チャンネルパート1・2・3」の活動を行った。湯沢市の麺、駒形りんご、犬っこ祭りについて校外学習やリモート取材、講師を迎えての犬っこ作りなど、体験的な活動を取り入れながら調べ、それをまとめて動画撮影を行い、校内で放送した。動画編集や原稿を読むことなど、それ

ぞれの生徒の興味・関心を生かしながら取り組み、意欲的に学習に向かう姿が見られた。

今年度は「中2チャンネル」として、昨年の単元の成果等、流れを引き継ぎながら、活動を発展させることで、より主体的に活動する姿を引き出していきたい。具体的には、「稲庭城編」、「西馬音内城編」、「湯沢城編」とし、自分たちの住む各地域を「〇〇城」に見立てて地域の調べ学習を行っていく。本単元はその中の「稲庭城編」として、「稲川の麺」に焦点を当てて調べ、まとめていく。単元の予備学習として、「稲川の麺」について調べたところ、稲庭うどんだけではなく、「稲庭中華そば」や「稲中焼きそば」という様々な麺があることに、生徒たちは大変興味をもった。これを今年度稲川地区で行われるうどんエキスポで「稲川の麺の魅力」として紹介パネルと動画にまとめ、全国各地から来る様々なお客さんに伝えることを単元のゴールとして活動を展開していく。強い興味を示した事柄と、明確な目的（ゴール）があることで活動への動機付けとなり、主体的な姿を期待できると考える。

生徒の実態を踏まえ、紹介パネルは、タブレット端末を使用してまとめる「麺の魅力パネル」、学校から稲庭城までの製麺所などを載せた「麺マップ」、うどんエキスポ当日に来ていただいたお客さんから自分の出身県に印を付けてもらったり、感想を貼ってもらったりする「リアクションパネル」の3枚にまとめ、さらに紹介動画も作成する等とし、多様な活動を設定する。このことで、やりたい活動を選択したり、自分の得意なことを生かしたりして役割分担を行って作成し、お互いの頑張りを認め合いながら活動を展開していけるようにする。また、自分たちの学習の成果を地域や地域外の方に見てもらって感想（評価）を頂くことで、より達成感を味わえるようにする。これら活動等を通して、自分で考え、意欲をもって物事に向かう力を育てることができると考え、本単元を設定した。

（3）指導にあたって

- ・意欲をもって学習できるように、うどんエキスポ実行委員会の協力を得て、実行委員会から生徒へ宛てた依頼動画を作成する。
- ・単元全体のイメージをもったり、進捗状況を全体で共有し、達成感を感じたりできるように、学習計画表を提示する。
- ・本時の学習の流れに見通しをもてるように、学習内容の提示やタイムタイマーなどの視覚的な掲示を行う。また、活動へのイメージをもてるように、活動や麺等の写真や動画を提示する。
- ・安心し、落ち着いた気持ちで学習に取り組めるように、活動場所を分けたり、小グループで活動したりする。
- ・実際に見たり聞いたりして学ぶことができるように、校外学習での調べ学習やパネル等の納品など、体験的な学習を取り入れる。
- ・自分で考えながら、主体的に学習できるように、調べたことをまとめる学習は、同じ流れで繰り返し行う。
- ・ルールを守ってタブレット端末が利用できるように、使用のルールを提示する。
- ・関わり合いながら活動できるように、友達に写真を依頼する場面を設定したり、適宜教師が代弁ややり取りの仲介をして、「〇〇さんはどうですか。」等の質問をしたりする。
- ・基礎的な知識を理解して、ネット上の写真やデータを活用できるように、画像検索の留意点を折りに触れて伝える場面を設定する。
- ・学んだことの定着に向け、経験したことをクイズにして楽しく振り返ったり、自分の感想などを発表する場を設定したりする。

4 指導計画(総時数 32時間)・・・本時25/32

小題材(単元)名(時数)	評価規準	指導する内容	評価
オリエンテーション(2) ・うどんエキスポ実行委員会から、紹介パネルと動画の制作依頼を受ける。 ・作成物や調べ方のイメージをもつ。	・依頼動画から、うどんエキスポで稲川の麺の魅力を来場したお客さんに伝える紹介パネルと動画を制作することが分かる。(主)	社会	
取材をしよう(15) ・取材内容の考案 ・稲川の製麺所への取材 ・校外学習での取材、見学 ・稲川の麺の試食、アンケート	・稲川の麺の魅力について紹介する目的を理解し、相手に応じた伝え方を工夫する。(思判表) ・知りたいことや学びたいことについて意見を出している。(主) ・質問への回答をメモしたり、覚えたりしている。(知技) ・試食の感想を話したり、伝えたり、他者の感想に興味をもち、受け入れたりしている。(思判表、主)	国語 数学 社会 技術・家庭	
調べたことをまとめてうどんエキスポでお客さんに伝えよう(10) ・麺の魅力パネル、麺マップ、リアクションマップ、紹介動画の制作(本時8/10) ・中学部に紹介	・取材してきたことをキーワードに沿って簡潔にまとめている。(知技、思判表) ・友達や教師に自分の考えを伝えて制作に取り組んでいる。(思判表) ・友達と協力したり、間接的に一緒に作ったりしている。(思判表) ・伝える相手を意識し、写真や文字の大きさなどを工夫している。(思判表)	国語 数学 社会 技術・家庭 美術	
納品しよう(3) ・うどんエキスポへのパネル、動画の納品 ・うどんエキスポでの展示	・完成した紹介パネルと動画をうどんエキスポ実行委員会に直接渡すことで、喜びや達成感を感じている。(思判表)	社会 国語	
まとめをしよう(2) ・お客さんからのリアクションを知る。 ・次にやりたいことを考える。	・来場したお客さんからのリアクションに興味をもち、次のやりたいことをイメージする等、期待感をもっている。(主)	国語 社会 数学	

5 本時の計画

(1) 目標

- ・伝える相手への見やすさや分かりやすさを意識して、コメントや写真などを工夫し、教師や友達とやり取りしながら協力して制作する。(思・判・表)

(2) 本時で指導する内容

社会、国語

(3) 本単元にかかる生徒の実態と本時の目標

名前	本単元にかかる生徒の実態	本時の目標
		本時の目標を達成するための手立て
A (2年・女)	・稲庭うどんや稲庭城に興味をもち、パンフレットの写真を指さして選んだり、過去に校外学習で行った経験を教	・見えやすいように向きや位置を守ってシールを貼ったり、友達の活動が終わるまで待ったりする。

	<p>師に伝えたりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことや、まとめたことを伝えたい相手の名前を挙げたり、自分のやりたい活動を発表したりするなど、積極的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、活動内容と終了時刻、役割分担を確認する編集会議をする。 シールや紹介文を貼る位置に、貼る物別に色分けして印を付ける。 友達の活動が分かるように、完成図を一緒に見ながら進捗状況を確認する。
B (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 稲庭うどんの調べ学習では、パンフレットをよく読み、稲庭うどんに関する大切なポイントを見つけてメモをしたり、発表したりした。 どうして稲庭地区でうどん作りが盛んなのか、という問いに「小麦と水がいいからではないか。」と自分の考えをもち、発表した。 	<ul style="list-style-type: none"> 取材して分かったことの中から、伝えたいことや大切なことを見つけて要約したり、自分の考えや感想を交えた文章を書いたりする。 パネルの構成がイメージできるように、最初に構成に関する話し合いをする。
C (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> うどんエキスポ実行委員会からの要望や留意点を意識しながら動画の制作を行っている。また、取材内容を考える場面などでも積極的に発表をした。 自分のやり方の変更を求められる場面や、話し合いなどの苦手な活動場面で参加できないときがあるが、教師と原因や参加できる方策を話し合うことで、活動に戻るが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達からの依頼を受け入れて写真を準備したり、うどんエキスポという場を意識して落ち着いたテロップや写真のアニメーションを工夫したりして紹介動画を制作する。 友達と関わることができるように、必要な写真を依頼される場面を設定する。 うどんエキスポと公な場を意識できるように、動画編集のポイントを示したうどんエキスポ実行委員会からの依頼書として提示して伝える。
D (2年・女)	<ul style="list-style-type: none"> 初めは、新しい単元に不安を覚え教室に入れないことがあったが、校外学習でのインタビューなど好きな活動を通して意欲的に取り組めるようになった。 文字を書いたり、色を塗ったりする活動が好きなため、パネル等の題字作成を行っている。自分が書いた題字を友達にほめてもらい、意欲が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> お客さんに見てもらうことを意識して、「ようこそ、稲川へ」等の題字を正確に丁寧になぞったり、シールを付箋に貼ったりする。 友達と場を共有しながら、最後まで活動に取り組む。 お客さんに見てもらうことを意識できるように、お客さんの写真などを使って「丁寧に書く」などのポイントを伝える。 友達とのつながりを意識できるように、書いた題字を友達に見てもらう場面を設定する。 活動に見通しがもてるように、活動手順を明示する。
E (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習の際に、友達もった疑問に対する答えを見付け、「〇〇さん、稲庭そうめんもあるよ。」と、自分から友達に教えた。 日程や取材先、質問することを覚え、「ぼくは、〇〇と質問します。」と校外学習に行く目的をしっかりと理解して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や稲庭うどんに関する情報の中から紹介したいことを選んだり、伝わりやすい言い方を一緒に考えたりする。 最初に、活動内容と終了時刻、役割分担を確認する編集会議をする。 紹介したいことを選べるように、取材して分かったことを短いキーワードにして付箋に書いておく。 伝わりやすい言い方を選べるよう、教師が手本を複数示す。
F (2年・男)	<ul style="list-style-type: none"> うどん店の取材や魅力パネル作りなど、どの活動にも自分の意見や感想を積極的に発表し、意欲的に取り組む。 友達の制作活動の良かった点を具体的に評価できるが、自分の考えと異なるときは友達に厳しく言うときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力パネル作りのコメント記入では、お客さんに伝わりやすいようにインタビューの内容から要点を絞って書いたり、友達にアイデアを提案したりする。 要点を絞ることができるように、キーワードに対して印を付ける時間を設定する。 友達に具体的なアイデアを提案できるように、友達が悩んでいる点を教師が整理して伝える。

(4) 展開

時間(分)	学習活動	指導上の留意点及び手立て	準備物
3	1 挨拶をし、本時のめあてと学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手や活動の目的を意識し、活動を始められるように、お客さんの写真や「へ～なるほど！、食べてみたい！」等と書いた吹き出しを掲示し、簡潔にめあてを伝える。 	タイトル、めあて お客さんの写真 吹き出し
めあて：お客さんが見やすい！分かりやすい！ものを作ろう！			
35	2 紹介パネルと動画を作る。 ○ <u>紹介パネル</u> (B) (F) (T3) ①編集会議 ②タブレット端末での編集 ○ <u>麺マップ</u> (A) (E) (T2) ①編集会議、役割の分担 ②紹介文の作成、製麺所名等の貼り付け ○ <u>リアクションパネル</u> (D) (T1) ①題字等のなぞり ②リアクション付箋作り (付箋へシール貼り) ○ <u>紹介動画</u> (C) (T1) ①写真の取り込み ②アニメーション等の編集	<ul style="list-style-type: none"> 活動の終了時間が分かるように、タイムタイマーで時間を設定する。 落ち着いた気持ちで活動に取り組めるように、活動場所を教室と作業学習室3とに分けて行う。 安心して授業に取り組めるように、好きな活動や得意な活動を取り入れる。 伝える人を意識し、工夫して制作できるよう、前時までに振り返った制作の工夫シートを準備し、適宜一緒に見たり、伝えたりする。 友達の進捗状況を把握し、協力してパネル作成ができるよう、タブレット端末のプレゼンテーションソフトを共同編集に設定する。(T3) 完成のイメージが分かるよう、簡単な編集会議の場面を設定する。 自分の言葉で感想などを表現できるよう、校外学習等の写真を提示しながら質問したり、代弁したりする。(T2) 本時の活動に見通しをもって取り組めるように、活動量を相談して決める。 友達同士で関わられるように、必要な写真を(C)に依頼する場面を設定する。 	タイムタイマー タブレット端末 取材シート なぞり用紙 ペン、付箋 シール 活動内容表 麺マップ テプラ のり 製麺所、食事処アイコンシール コメントカード 写真 両面テープ 動画編集依頼書 素材依頼用紙
12	3 振り返りをする。 ・本時の工夫した点、制作した物の報告 ・次時の活動内容紹介	<ul style="list-style-type: none"> 本時の頑張りを全体で共有できるように、本時の工夫した点や制作物を報告したり、TVに映したりする場面を設定し、称賛する。 達成感を感じ、次時に期待感をもてるように、学習予定表にOKシールを貼る場面を設定して称賛し、次時の活動について伝える。 	TV 学習予定表 OKシール

(5) 評価

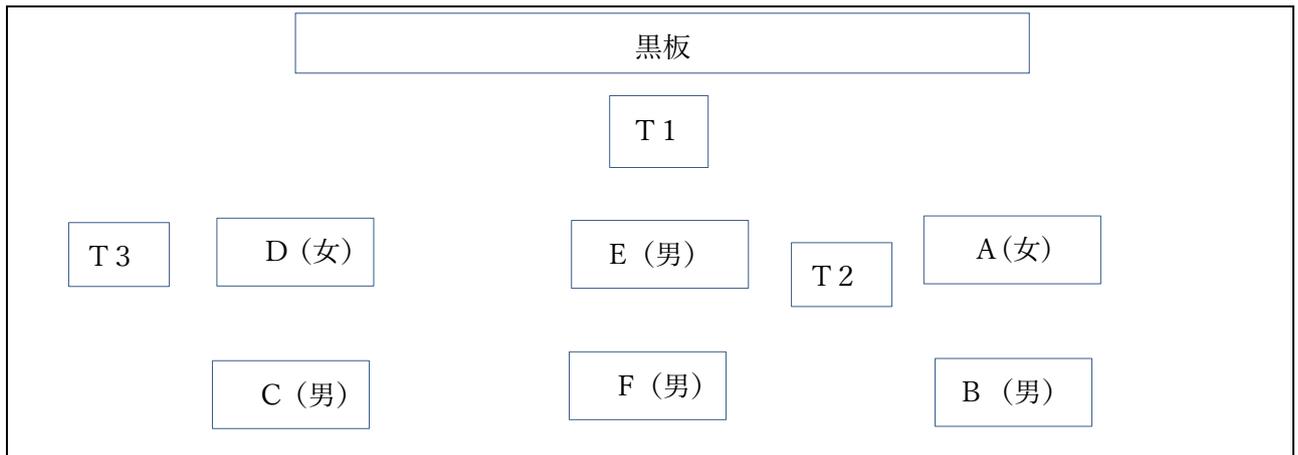
【生徒】

- ・うどんエキスポに来るお客さんが分かりやすい紹介パネルや動画を制作するということを意識しながら、コメントや文字の大きさ、写真などの工夫を教師や友達と話し合いながら制作できたか。

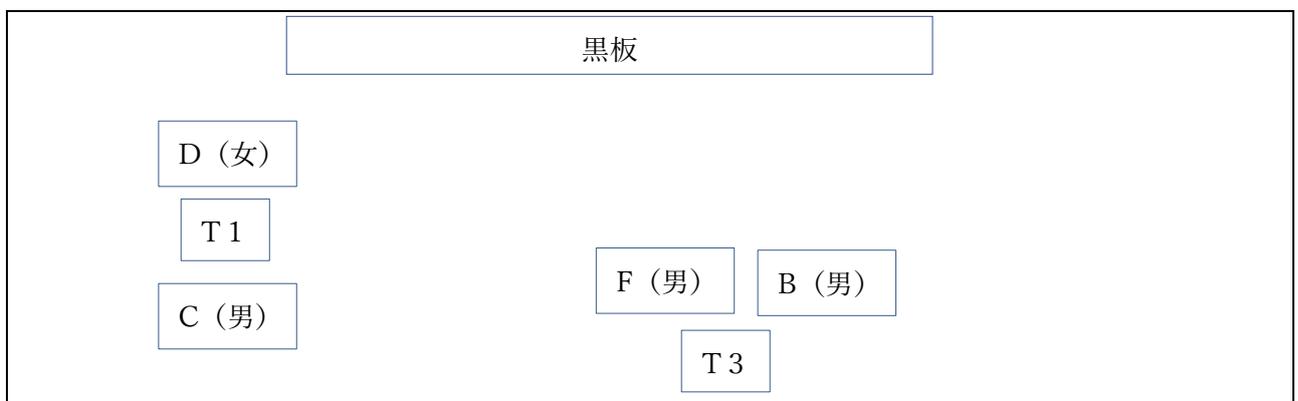
【教師】

- ・伝える相手や伝え方の工夫に関する意識付け、完成のイメージのもたせ方、生徒同士が直接的・間接的に協力できるような場の設定等の支援は適切だったか。

(6) 配置図 (学習活動 1、3)



(学習活動 2・教室)



(学習活動 2・作業学習室 3)

